

3学年保護者様

長崎県立佐世保西高等学校
校長 宅島健司

本校の授業の現状及び今後の教育活動の見通しについて

新緑の候 ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日ごろから本校の教育活動に対して、ご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、3月・4月の臨時休校措置期間及び5月11日から本日までの段階的授業再開期間の教科指導につきましては、課題プリントの配付・回収やClassiにおける日々の学習状況の把握など、教職員一丸となり取り組んで参りました。

しかしながら、通常の授業実施とは状況が大きく異なっております。そのため、授業の進捗状況や今後の見通しについて、不安を感じていらっしゃるかと推察いたします。

そこで、各教科・科目における授業の現状及び今後の授業や学校行事に関する見通しについて、下記にまとめました。内容についてご確認いただき、あわせて今後の教育活動についてご理解いただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

記

1. 臨時休業等による授業時数の状況

期間	臨時休業となった授業日	実際に欠けた総授業時間数	備考
3月3日～24日	10日	54時間	高校入試期間・球技大会は含まない
4月21日～5月8日	10日	70時間	
5月11日～22日	2日 ※実際の登校日は8日	1年：49時間 2年：46時間 3年：14時間	1・2年生は分散登校

2. 夏季休業中の授業日等の予定

従来、長期休業中の授業日設定（夏休みなどに授業ができる＝教科書を扱える）は年間15日という制限があり、授業日以外に登校させる際は「演習」しかできませんでしたが、今年度は、この授業日設定の制限緩和により、以下の日程を授業日とし、各学年で対応します。

全学年の取組	7月21日～8月6日・8月17日～8月31日（22日間）を夏季休業中の授業日とし、授業時数を確保する
1年の取組	7月27日～30日に予定していた「校内学習会」の内容を変更し、授業を実施する
2年の取組	大学の出張講義については、生徒の進路選択上必要であり、現時点では延期を含めて検討中。可能な限り行事を精選し、授業時間を確保する
3年の取組	7月29日～8月4日に予定していた「学習合宿」を中止し、校内での授業及び「質問教室」に内容を変更する

※冬季休業に関しては、今後の状況を踏まえて判断します

3. 今後の学校行事

体育大会及び西高祭（文化祭）については、今後の新型コロナウイルスの感染拡大の状況及び感染予防対策を踏まえて検討します。

4. 各教科目の授業の現状と今後の見通し（3年理系）

教科目名	臨時休業期間中の指導状況	今後の指導計画
現代文B	①教科書「意味と表徴」「評論解析B—1・2」学習プリント ②対外実力テスト過去問。	①左記学習プリントの解説終了後教科書「ころ」にて小説の読み方演習 ②自学用問題集を使用し、評論の解き方の確認。 ③順次演習問題で記述、マーク問題の解き方を徹底解析(夏季に徹底)
古典B	①教科書「姫君の苦難」「赤壁の戦い」「車争い」学習プリント配付 ②敬語演習プリント・句法シート・日々課により、受験に必要な基本事項の提示と確認。	①授業進度を早めて教科書を使用しつつ受験対策を行う。 ②すでに与えている句法シートや語句プリントを使い基礎事項を確認 ③順次演習問題にて記述、マーク問題の解き方を徹底解析する。(夏季に徹底)※現時点で受験に必要な基礎事項の提示は済んでいるので、以降は繰り返し確認させる。
世界史B	①第6章3「モンゴルの大帝国」(p165)～第7章4「ムガル帝国の交流と東南アジア交易の発展」(p197)まで、整理ノートを教科書・図表をみながら完成を指示し、登校日に解答を配付。訂正を指示。 ②①の範囲の中から、「北方民族の展開」と「明から清への経済と文化の変化」のレポート提出 ③①の範囲についてZOOMによるオンライン解説(実授業4コマ分) ④「実力トレーニング世界史」p4～p53(既習範囲)の完成を指示。登校日に解答を配付。訂正を指示。	①授業再開後は第8章1「ヨーロッパ世界の拡大」から開始 ②臨時休業中の内容(左項①)については放課後講座の演習に合わせ補足解説を行う。 ③状況によっては臨時休業中の内容(左項目①)についてオンライン解説を行う。 ④教科書の内容を終わるのは標準的な11月中旬。
日本史B	①室町時代の「室町幕府の成立」から江戸時代の「幕藩社会の構造」まで(教科書75ページ分)のプリントを配付 ②教科書を見ながら配付プリントを完成させるとともに、演習問題に取り組み、自己採点を行う	①授業再開後は、次の「幕政の安定」から開始 ②授業の進度を早め、教科書の内容が終わるのは例年どおり11月中旬 ③臨時休業時間中の内容は、放課後講座における演習にあわせて補足 ④プリントを配付した内容は、5時間程度ポイントを説明した上で、次の「幕政の安定」に入る。 ⑤プリントを配付した内容は、夏季の授業日の期間中に補足説明を行う
地理B	①教科書「資源・エネルギー問題」「世界の工業」の範囲に対応したNHK 高校講座の動画視聴、レポート提出 ②「実力トレーニング地理」(「地域調査」の範囲)の完成を指示 ③②の範囲について希望者にZOOMによるオンライン解説を実施	①授業再開後は①で実施した範囲を含め、進度を速めて実施 ②教科書の内容が終わるのは11月中旬を予定 ③放課後講座等で演習を行い、状況によってはオンライン解説を行う ④模試の演習を想定した小テストを従来どおり継続して実施していく
数学Ⅱ	「大学入試共通テスト対策 数学ⅠA・ⅡB 標準 PLAN100」の数学ⅠA 分野(1～49)に取り組み、自己採点を行う。※実践問題は除く	①「大学入試共通テスト対策 数学ⅠA・ⅡB 標準 PLAN100」の数学ⅡB 分野(50～100)を6月末までに演習・解説を行う。実践問題を除く ②以降この問題集の演習を繰り返し、実践問題を用いて到達度を測る。 ③夏季補講期間は、共通テスト対策問題集を購入し、演習を行う。 ④後期は、共通テスト対策を過去問、予想問題集を用いて行う。
数学B		
数学Ⅲ	①教科書「第2章 複素数平面」のワークシートを配布し、教科書の内容を参考にして、演習する。	①数学Ⅲの教科書の内容を、8月末を目処に終えるよう進度を速める。 ②夏季講座期間中は共通テスト対策の問題集を購入し課題として取り組む ③10月末までは、数学Ⅲの内容を中心に、既習事項の問題演習を行う。 ④11月中旬に共通テスト対策に切り替える。
物理	①「熱力学」「波」「音(ドップラー効果まで)」の教科書補助プリント配付 ②ニューグローバル(問題集)の中から「熱力学」「波」「音(ドップラー効果まで)」に該当する演習問題を20問指定 ③教科書を見ながら配付プリントを完成させるとともに、教科書に載っている問題(問・例題・類題)に取り組み、自己採点を行う。 ④指定したニューグローバルの問題に取り組み、自己採点を行ったうえで開設を読んで訂正をする。 ⑤6月マーク模試の復習のため、ニューグローバル(問題集)から既習分野の中で問題数を約60問指定(基本コース・発展コース別) ⑥⑤で指定した問題について、基本コースか発展コースのいずれかを自分で指定した上で、毎日1題問題に取り組む。	①授業開始後は、臨時休業中の内容の、重点箇所の説明を行う。 ・熱力学の状態方程式の演習(1時間) ・波の干渉(1時間) ・ドップラー効果(2～3時間) ②それ以降は、授業進度確保のため「光」に入る。 ③5月中旬に「光」分野まで終わらせた後、授業2時間と放課後講座2時間の計6時間を活用して、「単振動」の復習を行う。(前年度の最後に学習した内容であり、クラスによって終わりにばらつきが生じ、一部が自宅学習となったため) ④その後は、年間計画に戻り、進度を確保する。教科書が終わるのは11月中旬の予定。
化学	第2編の化学平衡の第3章.電離平衡は自学では理解が厳しいため、(1)第3編の無機物質編の問題集(これは暗記事項が多く自学が十分可能な範囲、(2)2年次の復習プリントを課題とし、質問はClassiにて受け付けた。また、3つめの課題として、入試問題集「リードα」の基礎編を順次解いていくように指示。(詳細な解答解説付き) [課題について] ①2年次の復習プリント2週間分、②無機物質編の問題集2週間分、③化学問題集「リードα」	授業再開後の対応について 例年実施している校外模試の範囲については進捗としては十分間に合っている。演習の時間は十分とは言えないが、課題等で補っていく。 ①電離平衡から授業を進めている。 ②無機物質編については実力テストで理解度を測っているため、それを元に補習授業で理解を進めていく予定。
生物	①実施予定であった「動物の発生」のプリントを配付 ②教科書を見ながら配付プリントを完成させるとともに、演習問題に取り組み、自己採点を行う	①授業再開後は、「生殖と発生」からスタート ②授業の進度を確保し教科書の内容が終わるのは、例年通り11月初旬 ③臨時休業時間中の内容は、ポイントとなる重要事項の補足説明を行う
コミュ英Ⅲ	①共通テストを意識した速読演習問題(一日一題ペース)のプリントを配付し、解答解説で自己採点を行わせる。 ②選択式客観問題及び記述式問題を盛り込んだテキストを使用し、解答解説で自己採点を行わせる。 ③共通テスト形式の演習問題を配付、解答解説で自己採点	①授業再開後も定期的なペースで、授業時間内に速読演習を実施 ②生徒の弱点として特筆される要素について、授業で解説する。 ③テキストの内容把握だけでなく、本文の音読を通じて内容の内在化を図り、リスニングとの一体化に努める。 ④共通テストの筆記問題対策演習を授業時間内で適宜実施し、問題形式への習熟と弱点の洗い出しに努める。
英語表現Ⅱ	①文法・語法の既習事項の確認をしながら、表現演習ができるようになっているプリント・テキストを使用。解答後、解答解説を利用して、自己採点を行わせる。 ②リスニングについて、①のテキスト付随の問題に取り組み、音声と文字の一体化及び内容把握に努め、解答解説を利用して自己採点を行わせる。	①英語表現上苦手とする生徒が多い重点文法項目について、弱点強化に努めながら、表現力の向上を図る。 ②自由英作文の表現機会を定期的に実施し、授業内でのポイント解説だけでなく必要に応じて個別指導に努める。 ③リスニングについては、音声変化にポイントを置いたテキストを使用することで、生徒たちが聞き取りの阻害要因を自己分析し、強化に努めることができるように指導する。 ④共通テストリスニング対策演習を授業時間内で適宜実施し、問題形式への習熟と弱点の洗い出しに努める。

